

【特別選考①（教職経験者特別選考）資格確認用】

受験番号

		2	5				
--	--	---	---	--	--	--	--

職歴証明書

氏名 _____
(旧姓 _____)

生年月日 昭和・平成 年 月 日

上記の者は次のとおり、勤務していたことを証明する。

年 月 日

所在地

機関名

(教育委員会・学校法人名等)

証明者 職名

印

氏名

在職期間	在職年月	勤務校	職種	雇用形態	備考
令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	年 月		1. 教諭 又は講師 2. 養護教諭	1. 正規 2. 育児休業代替 任期付教員 3. 臨時の任用 又は常勤講師	
令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	年 月		1. 教諭 又は講師 2. 養護教諭	1. 正規 2. 育児休業代替 任期付教員 3. 臨時の任用 又は常勤講師	
令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	年 月		1. 教諭 又は講師 2. 養護教諭	1. 正規 2. 育児休業代替 任期付教員 3. 臨時の任用 又は常勤講師	
令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	年 月		1. 教諭 又は講師 2. 養護教諭	1. 正規 2. 育児休業代替 任期付教員 3. 臨時の任用 又は常勤講師	
令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	年 月		1. 教諭 又は講師 2. 養護教諭	1. 正規 2. 育児休業代替 任期付教員 3. 臨時の任用 又は常勤講師	
合計	年 月	※証明が必要な期間は、令和2年4月1日から令和7年3月31日までです。 上記以外の期間については、割愛いただいて構いません。 ※日本人学校や小中一貫校等の場合は、前期・後期等の課程も記入してください。 ※育児休業・病気休職やその他の理由により勤務しなかった期間がある場合は、 備考欄に勤務しなかった旨と該当期間を明記してください。			

記載例①

【特別選考①（教職経験者特別選考）資格確認用】

「横浜市立学校」

における職歴の場合

受験番号

2 0 2 5 0 0 0 0

- 本人が記入してください。
- 証明者欄（点線内の部分）の記入・押印は不要です。
- 職歴証明書は「証明者」ごとに作成が必要です。

氏名 横浜 花子

(旧姓 教育 花子)

生年月日 昭和・平成 8年 10月 8日

勤務されていた時と氏名が異なる場合には、旧姓も記入してください。
例 横浜 花子（教育 花子）

上記の者は次のとおり、勤務していたことを証明する。

年 月 日

所在地

機関名

(教育委員会・学校法人名等)

証明者 職名

印

氏名

職歴が「横浜市立学校」の職員の場合は、証明者欄（点線内の部分）の記入・押印は不要です。

※「横浜市立学校以外」の職員の場合は必須です。記載例2参照。

在職期間	在職年月	勤務校	職種	雇用形態	備考
令和3年 4月 1日から 令和5年 3月 31日まで	2年0月	横浜市立横浜A中学校	1. 教諭 又は講師 2. 養護教諭	1. 正規 2. 育児休業代替任期付教員 3. 臨時的任用 又は常勤講師	育児休業 (令和3年7月1日 ～令和4年3月31日)
令和5年 4月 1日から 令和6年 8月 31日まで	1年5月	横浜市立横浜B中学校	1. 教諭 又は講師 2. 養護教諭	1. 正規 2. 育児休業代替任期付教員 3. 臨時的任用 又は常勤講師	
令和6年 9月 1日から 令和7年 3月 31日まで	1年7月	横浜市立横浜C中学校	1. 教諭 又は講師 2. 養護教諭	1. 正規 2. 育児休業代替任期付教員 3. 臨時的任用 又は常勤講師	
令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	年 月		1. 教諭 又は講師 2. 養護教諭	1. 正規 2. 育児休業代替任期付教員 3. 臨時的任用 又は常勤講師	
令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	年 月		1. 教諭 又は講師 2. 養護教諭	1. 正規 2. 育児休業代替任期付教員 3. 臨時的任用 又は常勤講師	
合計	年 月	※証明が必要な期間は、令和2年4月1日から令和7年3月31日までです。 上記以外の期間については、割愛いただいて構いません。 ※日本人学校や小中一貫校等の場合は、前期・後期等の課程も記入してください。 ※育児休業・病気休職やその他の理由により勤務しなかった期間がある場合は、備考欄に勤務しなかった旨と該当期間を明記してください。			

記載例②

【特別選考①（教職経験者特別選考）資格確認用】

職歴が
「横浜市立学校以外
(私立学校等含む)」
の場合

- 原則として、受験番号以外は
証明者が記入してください。
- 職歴証明書は「証明者」ごとに作成が必要です。

受験番号

2 0 2 5 0 0 0 0

職歴証明書

勤務されていた時と氏名が異なる
場合には、旧姓も記入してください。
例 横浜 花子（教育 花子）

氏名 横浜 花子

(旧姓 教育 花子)

生年月日 昭和(平成) 8年 10月 8日

上記の者は次のとおり、勤務していたことを証明する。

年 月 日

日付がないもの、未来日
(R 8年3月31日等)のもの
のは無効です。

公立学校職の場合は、任命権者印を押印してください（公立は校長印不可）。
私立学校等の場合は、理事長等の印を押印してください。

所在地

機関名

(教育委員会・学校法人名等)

証明者 職名

氏名

印

在職期間	在職年月	勤務校	職種	雇用形態	備考
令和3年4月1日から 令和7年3月31日まで	4年0月	○○学園高等部	1.教諭 又は講師 2.養護教諭	1.正規 2.育児休業代替 任期付教員 3.臨時の任用 又は常勤講師	後期課程 育児休業 (令和6年4月1日 ～令和6年8月31日)
令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	年 月		1.教諭 又は講師 2.養護教諭	1.正規 2.育児休業代替 任期付教員 3.臨時の任用 又は常勤講師	
令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	年 月		1.教諭 又は講師 2.養護教諭	1.正規 2.育児休業代替 任期付教員 3.臨時の任用 又は常勤講師	
令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	年 月		1.教諭 又は講師 2.養護教諭	1.正規 2.育児休業代替 任期付教員 3.臨時の任用 又は常勤講師	
令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで	年 月		1.教諭 又は講師 2.養護教諭	1.正規 2.育児休業代替 任期付教員 3.臨時の任用 又は常勤講師	
合計	年 月	※証明が必要な期間は、令和2年4月1日から令和7年3月31日までです。 上記以外の期間については、割愛いただいて構いません。 ※日本人学校や小中一貫校等の場合は、前期・後期等の課程も記入してください。 ※育児休業・病気休職やその他の理由により勤務しなかった期間がある場合は、 備考欄に勤務しなかった旨と該当期間を明記してください。			